

デーリー東北

2020年(令和2年)10月8日(木曜日) (15)

アクションクラブ代表 柏崎さん原案ご当地ヒーロー

「阿弓流為」応援して

三沢

三沢市のアクションクラブ「隼風」代表の柏崎博志さん(55)原案のご当地ヒーロー「東北英雄阿弓流為」の映像作品の上映会が、18日に同市内で開かれる。柏崎さんは八戸工業大の学生で組織する八戸空想科学研究会らの協力を得て、約1年半をかけて映像作品を制作。柏崎代表は「青森でも映像作品を作り出せると証明したい。阿弓流為を多くの人に見ていただき、応援してもらいたい」と話し、多数の来場を呼び掛けている。

(松渡拓)



柏崎博志代表(右から2人目) 原案のご当地ヒーロー「東北英雄阿弓流為」(中央)

動画制作、18日上映会

「阿弓流為」は、朝廷の東北侵攻に抵抗した蝦夷のリーダーがモチーフ。プロのスタン・トマンとして活動する柏崎さんが、2013年にNHKドราม「火怨北の英雄アテルイ」伝に出演したことをきっかけに構想。映像制作を志す若者に活躍の機会をつくり地域



映像を見ながら、色調や音声を微調整する関係者

を盛り上げようと企画した。柏崎さんは隼風の関係者や八戸工業大生、フリーの俳優や地元の人らと共に昨年5月に撮影をスタート。八戸市や三沢市、十和田市などでロケを行い、編集作業を終えた。作品は、主人公がヒーローに変身して周囲の人を守るため敵と戦う内容。当初は約1時間の映画を予定していたが、新型コロナウイルスの影響などから、10分前後の動画作品全4話に編集した。編集に携わった同大4年の川畑郁弥さん(21)は、「周囲の応援があつてここまで来られた。さらに多くの人を巻き込んで阿弓流為を広めたい」と話す。

「たくさんの方の協力を得て、阿弓流為の可能性が広がった」と振り返る柏崎さん。「ゼロから作り上げた、大きな一歩となる作品。認知度を高めて、さらなる活躍の場を切り開きたい」と思いを語った。

上映会場は三沢市のライブバー「ムーンリバー」で、席は約70席を想定。参加料は小学生以下500円、中学生以上千円。午後1時と3時、5時の計3回上映し、会場では阿弓流為との撮影会も予定している。問い合わせは、柏崎代表へ電話090(3048)60122へ。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。